

平成28年度 事業報告書

1 組織強化活動

(1) 全戸会員制の推進

社会福祉事業の組織的活動の促進と地域福祉の増進を図るため、社協の全戸会員制を推進し、各自治会の協力のもとに7,295戸で98%の加入実績となった。

(2) 高額寄付者に対する感謝状の贈呈

社会福祉事業に10万円以上の金品を寄付された14名の寄付者に対し、感謝状を贈呈した。

(3) 主な研修会等への参加

○道北7市社協職員自主研修会	(28年 4月21日～22日)	富良野市4名)
○上川管内北部ブロック事務局長会議	(28年 5月20日)	士別市1名)
○上川管内社協職員連絡協議会研修会	(28年 6月10日)	旭川市3名)
○上川管内市町村社協会長事務局長会議	(28年 6月15日)	旭川市2名)
○全道社協会長事務局長研究協議会	(28年 6月21日～22日)	札幌市2名)
○上川管内社協役職員研修会	(28年10月 6日)	旭川市4名)
○上川管内社連協研修会	(28年11月 2日～ 3日)	旭川市1名)
○全道市町村社協事務局長連絡会議	(28年11月17日)	札幌市1名)
○士別市民生委員児童委員研修会	(29年 1月23日)	層雲峡1名)
○上川管内社連協北部ブロック研修会	(29年 3月10日)	名寄市1名)

2 広報広聴活動の充実

(1) 社協だよりの発行

全戸配布する「社協だより」を、6回（第186号～第191号）発行し、各種福祉サービス、ボランティア活動及び住民の福祉活動など幅広い情報の提供に努めた。

(2) 情報提供

各種ボランティアスクール開催案内等、ホームページによる福祉サービスの情報提供、また市内報道機関・行政の協力による広報活動を行った。

(3) 広聴活動

広聴活動については、社協に常設の「心配ごと相談所」を開設し、相談員(社協職員・民生委員児童委員)が市民の福祉を中心とする日常生活上の相談に応じるとともに、様々な意見などを伺う広聴活動に取り組んだ。

また、平成25年度に設置の「第2期士別市地域福祉実践計画策定懇談会」を定期的

に開催し、社協事業の審議・検証と合わせ、各種の福祉団体等に所属している、12名の懇談会委員から意見等を伺う広聴活動を実施した。

3 地域福祉活動

(1) 支部活動の推進

市内の地区自治会連合会を単位とした5支部（中央・上士別・多寄・温根別・朝日）に対し、各地区独自の地域福祉活動の推進を図るため活動費を助成した。

(2) 小地域ネットワーク活動推進事業

在宅福祉活動がより一層地域に定着していくことを願って、平成2年度から単位自治会を対象とした「在宅福祉サービス実践地区指定事業」を行ってきたが、平成14年度より「小地域ネットワーク活動推進事業」として改め、各自治会とタイアップした地域福祉の推進をめざし、25自治会に、1自治会3万円の助成を行った。

(3) 災害に強い地域づくりの推進

士別市地域防災計画に基づき、復興復旧の救援活動を行うボランティアの受入調整と、その体制づくりを推進する「士別市災害救援ボランティアセンター設置運営マニュアル」を整備している。

また、北海道内において自然災害等が発生した場合、道内の各市町村社協が相互に救援活動を推進することの「災害救援活動の支援に関する協定」について、北海道社会福祉協議会と締結している。

さらに、市民や社協職員を対象とした、災害に強い地域づくり研修会を次のとおり実施した。

研修月日 2月25日(土)

会 場 士別市民文化センター

活動報告 「2016大雨水害時の自治会自主防災組織での対応について」

報告者：あけぼの自治会

講 演 「2012.11の暴風雪停電時を振り返る」

～登別市の地域での取組を通して～

講師：登別市社協 係長 坂本大輔氏

参加者 市民 94名

4 ボランティア活動

(1) 平成28年度第1回士別市民ボランティアスクール

日 程 5月19日(木) 18:30～20:00

会 場 士別市民文化センター 研修室

内 容 講演 「地域で取り組むボランティアの魅力」

～私達にできる身近なことから～

講師 井田 俊美 氏

旭川市ボランティアセンター運営委員長

参加者 61名

(2)平成28年度士別市福祉教育懇談会

日程 5月30日(月) 18:30～20:00

会場 士別市民文化センター 研修室

講演 「落語を聴いて『福祉の学習』と『ボランティア』を考える」
～ボランティア活動を通して子ども達に育まれる力～

講師 月の輪熊八(村田 政孝)氏

参加者 市内教員、ボランティアセンター運営委員等 22名

(3)上川北部ボランティア実践者交流会

日程 11月5日(土)

会場 士別市勤労者体育センター

内容 ・講話「お互い様の心～落語を聴いて、笑って泣いて…心がつながるといふ嬉しさ」

講師 月の輪熊八(村田政孝)氏

・体験 「『みんな』でできる、風船バレーを楽しもう！」

参加者 60名(内、士別市14名)

(4)平成28年度第2回士別市民ボランティアスクール

日程 10月14日(水) 18:30～20:00

会場 士別市勤労者体育センター多目的ホール

内容 講演 「今までのV o、これからのV o」

講師 鈴木盈宏 氏

愛知県社協VC運営委員長

参加者 64名

(5)第38回住民福祉活動を進めるつどい

日程 10月18日(金) 18:30～20:00

会場 士別市民文化センター 研修室

内容 講演 「『自然災害』と向き合う

～H27.9関東・東北豪雨における日光市災害VCの取組～」

講師 松本昌宏 氏

栃木県日光市社協地域福祉戦略室長兼地域支援チームリーダー

参加者 67名

(6)ボランティア研修交流会

日程 10月15日(土) 14:30～20:00

会場 士別市生涯学習情報センターいぶき

内 容 ・ 講演

「災害時の支え合いについて」

講師 鈴木盈宏 氏

愛知県社協 V C 運営委員長

・ グループワーク 「今年の大雨水害時を振り返って」

・ 交流会

参加者 39名

(士別市17名、名寄市9名、剣淵町 6名、和寒町 6名、講師 1名)

(7) ボランティアセンター研修会 (第22回士別市中学生・高校生ワークキャンプ)

日 程 11月19日(土) 14:00~17:00

会 場 サポートセンターしべつ大会議室

内 容 ・ 講演 「”ソトモノ”をつなげる」

講師 松本昌宏 氏

栃木県日光市社協地域福祉戦略室長兼地域支援チームリーダー

・ グループワーク

参加者 ボランティアセンター運営委員 5名

(8) ボランティア団体との懇談・茶話会 (平成28年度第3回市民ボランティアスクール)

日 程 3月4日(土)

会 場 サポートセンターしべつ大会議室

内 容 「むぎの会」今後の活動について

むぎの会役員と V C 正副運営委員長との懇談・茶話会

参加者 11名

(9) 平成28年度第2回ボランティア指定校担当者会議

日 程 2月22日(水) 18:30~20:00

会 場 サポートセンターしべつ 2階 会議室1

内 容 ・ 講演 「学校と社協が連携して行う福祉教育の実践

～共生ってなんだろう～」

講師 名寄市立名寄南小学校 教諭 松田隆之 氏

名寄市社協 地域支援係長 小笠原志朗 氏

参加者 22名

(10) 子どもの心を育む福祉教育推進事業

「福祉教育が地域福祉の根幹をつくる」と言われており、このため、これを目指して子どもの豊かな福祉感と、健やかな成長を育むことの福祉教育推進事業を、次のとおり実施した。

・ テーマ 「ウィルチェアラグビーとの出会いとこれからの夢」

～講師：ウエルチェアラグビー日本代表 池崎大輔 氏

5月31日(火) 士別西小学校 5年生 50名

士別東高等学校 全学年 17名

- ・テーマ 「心のバリアフリーについて」
 ～講師：DPI北海道ブロック会議長 我妻 武 氏
 6月14日（火） 士別東高等学校 1・3年生 8名
- ・テーマ 「手話落語を楽しもう」
 ～講師：手話落語家 林家とんでん平 氏
 6月22日（水） 士別西小学校 4・6年生、特別支援学級 44名
 23日（木） 士別南小学校 3・4・5年生、152名
- ・テーマ 「ボランティア学習体験」
 ～講師：士別手話サークル 会長 加納由美子 氏
 士別要約筆記サークルなのはな 会長 高橋律子 氏
 牧野雅子 氏
 収集ボランティアサークルひまわり 会長 岡 松枝 氏
 10月11日（水） 士別東高校 全校生徒 17名
- ・テーマ 「障がいについて、ウエルチェアラグビーの紹介・体験」
 ～講師 ウエルチェアラグビーチーム神威（選手2名・スタッフ3名）
 11月21日（月） 士別糸魚小学校 3・4年生 11名
- ・テーマ 「障がいやバリアフリーについて、車いす体験(士小はエコベース)」
 ～講師 カムイバリアフリースーツアーセンター 松波正晃 氏
 小澤彰太郎 氏
 2月13日（月） 士別南小学校 3年生 54名
 士別小学校 3年生 45名
- ・テーマ 「聴覚障がい（殿内さん）について」
 「耳が聞こえない状態の体験・コミュニケーションについて」（ジェスチャーゲーム・補聴器・耳栓体験・手話体験）
 ～講師 士別聴覚障がい者の会 殿内美香 氏
 士別手話サークル 会長 加納由美子 氏
 2月21日（火） 士別小学校 5年生 45名

(11) 福祉・ボランティア団体助成事業

福祉団体、ボランティア団体の活動を援助するため、18団体に対し助成し活動の助長を図った。

(12) 学童生徒のボランティア活動普及事業

本事業は、学童生徒の社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア精神を養うことを目的として、市内全校（小学校8校、中学校5校、高等学校1校）に対し、高等学校は年間5万円、生徒数20人以上の小中学校は年間5万円、20人未満の学校は年間3万円を助成し活動の助長を図った。

(13) 士別市ボランティアセンターの運営

本市のボランティア活動を推進するため、15名の運営委員のもと各種ボランティアスクール、ワークキャンプ、住民福祉活動を進めるつどい等の企画運営や、ボランティアセンターだよりの発行等に取り組んだ。

- 運営委員会 委員 15名 委員会 12回（第2月曜日）開催
- 個人登録ボランティア 81名（平成29年3月31日現在）
- ボランティアセンターだよりの発行 3回
- 社協だより掲示板への掲載 6回
- ボランティア指定校担当者会議の開催 2回
- 土曜ボランティア学習塾の開催（対象…中学生、高校生）
（ボランティア体験学習や情報交換を継続的に実施）
 - 塾登録者 18名
 - 塾開催日 毎月第2土曜日（11回開催）
 - 参加者数 延べ 53名（塾生・VC・引率教員含む）
 - 開催内容 ふれあい広場（学童生徒コーナー）企画運営
児童館児童・障がい者との交流、年賀状代筆ボランティア等
- 社会貢献活動への協力
 - 「ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちのために役立てよう」「空き缶のリングプルを集めて車椅子を贈ろう」という運動が市民に定着してきており、エコキャップ（ペットボトルのキャップ）に関しては、本年度は延べ631団体・個人から寄せられた。

(14) 収集ボランティア活動

市民から寄せられた使用済み切手、プリペイトカードを収集ボランティアサークルひまわりが整理し「誕生日ありがとう運動本部」に送っており、本年度の実績は次のとおりである。

使用済み切手	151件	121,864枚
使用済みカード	35件	2,385枚

(15) 声の図書活動

○声の図書貸出事業

本事業は、小説、市の広報誌等を、声の図書朗読ボランティアが録音し、貸し出すものであり、出来上がった録音テープは現在 1,855編 12,328本となり、本年度の貸し出しは延 7件 109編 713本であった。

・利用者 視力障がい者他 3名

5 互助共励活動

(1) 無縁仏供養

日程 8月19日

会場 しべつ霊園「無縁の碑」

無縁者の霊を慰めるため、昭和60年士別市が建立した「無縁の碑」において、市関係者の参列のもと52柱の供養をした。

(2) 歳末たすけあい募金運動（28年12月 1日～30日）

本募金運動は、多くの市民、事業所、団体等の協力のもと、士別市共同募金委員会と共催で実施しており、本年度は催し物による募金を含め、40件1,312,934円の浄財が寄せられた。

なお、毎年恒例となっている、ボランティアサークルむぎの会主催による「歳末チャリティーふれあい演芸会」益金378,605円と、しべつふれあいの会主催「歳末チャリティーカラオケ選手権大会」益金340,630円の募金合計は、719,235円となり実績の約55%を占めている。

(3) 「ふれあい募金箱」運動

昭和58年より、歳末たすけあい募金運動の通年化と市民の善意の助長を図るため、しべつふれあいの会の協力のもと「ふれあい募金箱」を設置しており、その総額が61,341円となり、全額趣旨に添って「歳末たすけあい募金」として寄贈した。

募金箱設置事業所 市内37ヶ所

(4) 歳末たすけあい見舞事業（28年12月）

民生委員・市保健福祉部の協力により対象者を調査し、歳末見舞金品を交付した。

対象者 173名 見舞金品総額 1,308,000円

(5) ふれあい広場'16 IN しべつ PART33

日 程 7月2日（土）～3日（日）

会 場 士別市総合体育館

テ ー マ 「で愛 ふれ愛 かたり愛」～あふれる笑顔 みんなが主役～

実施主体 福祉・ボランティア団体・各学校並びに市民有志で構成された、205名の「ふれあい広場'16INしべつPART33実行委員会」が、企画から当日の運営にあたった。

内 容 ・ 語らいコーナー…語らいサロン、血圧測定、健康相談（市立病院医師派遣）

・ 体験の広場…点字教室、盲導犬体験・講話、収集ボランティア活動体験、アダプテッドスポーツ体験（車イスラグビー等）等
メインテーマ

「見て、観て、体験する！アダプテッドスポーツの魅力」

・ ステージ企画…ふれあいコンサート 等

・ ふれあいの店…障がい者関係作品展示即売、バザー

・ ボランティア障がい者福祉展

…布の絵本わらべ展、特別支援教育作品展、福島県川内村帰村への歩み展

・ 学童生徒ボランティア活動展

…各学校のボランティア活動時のパネル写真展・学童生徒企画コーナー（駄菓子屋、バルーンアート等）

・福祉標語

応募点数 409名

最優秀作品 「思いやる 気持ち一つで 咲く笑顔」

・ふれあいの夕べ（17：30～19：00）～雨天のため中止

参加者 缶ビールお茶、つまみセット交換数は493件

会 議 実行委員会2回含め 24回開催

入 場 者 2日間 約 2,800名

協 力 者 2日間 509名（実行委員、事務局を除く）

※ステージ出演者含む

ガイドヘルプ活動

ガイドヘルプ委員会を設け、自力で移動の困難な方に対してのガイドヘルプ活動を行い、2日間で14名が参加した。

(6)生活福祉資金貸付事務

低所得者や高齢者、障がい者のいる世帯等の生活自立を支援するため北海道社会福祉協議会が主体となり、市町村社協が相談窓口となっている事業で、本年度は生活支援費、教育支援資金についての相談が10件あった。

平成29年3月31日現在

資 金 名	貸付中	新規
生業費	1	
教育支援費	3	
教育支援費＋就学支度金	3	
緊急小口資金	1	
特別生活資金（冬期）		1
計	9	

(7)士別市心配ごと相談所運営

近年、市民の悩みごとや心配ごと等、相談内容の多様化が目立っており、適切な助言と、各種福祉制度等の紹介活用等を行った。

相 談 所

常設相談所…社協事務局内に置き、相談員が随時相談を受けている。

地域相談所…58名の相談員（民生委員）宅とし随時相談を受けている。

相談件数 年間147件

主な相談内容（相談件数の多い順）は、老人福祉、苦情、健康、生計であった。

(8)老人安全杖贈呈事業

おおむね70歳以上の高齢者や障がい者に対し、申し出により安全杖を無料で贈呈しており、本年度は142本の利用があった。

6 朝日地域福祉事業

(1) ふれあい昼食会

町内の70歳以上の高齢者を対象に昼食会を月1回開催し、ボランティアを含め延べ760名の参加があった。(高齢者599名、ボランティア161名)

(2) 第49回福祉運動会

日 程 10月25日(火)

会 場 朝日町農業者トレーニングセンター

参加者 127名 (65歳以上の住民82名、ボランティア45名)

(3) ボランティア支援事業

○広報紙「ぼらんていあネットワーク」を年6回発行した。

(4) 助成事業

心身障がい児の療育施設通所に対し交通費の一部を助成した。

- ・士別市こども通園センターのぞみ園通園者3世帯4人(71回)
- ・旭川市療育施設通園者1世帯1人(9回)
- ・名寄市立総合病院リハビリ通院者1世帯1人(13回)

7 士別市指定管理及び受託事業

(1) 士別市総合福祉センター指定管理運営事業 [別記1]

(2) 士別市多世代スポーツ交流館指定管理運営事業 [別記2]

(3) サポートセンターしべつ受託事業 [別記3]

(4) 士別市施設入浴サービス受託事業 [別記4]

(5) 士別市移送サービス受託事業 [別記5]

(6) 士別市在宅介護支援センター運営受託事業 [別記6]

(7) 福祉パトロール受託事業 [別記7]

(8) 士別市いきいきデイサービス受託事業 [別記8]

8 介護保険制度に係わる事業者指定

(1) 居宅支援事業所(ケアプラン作成機関)

士別市社協居宅介護支援事業所

平成12年4月1日(指定)

[別記9]

(2) 居宅サービス事業所（サービス提供機関）

士別市社協ヘルパーステーション
士別市社協訪問入浴事業所

平成12年4月1日(指定) [別記10]
平成12年4月1日(指定) [別記11]

9 障害者総合支援法に係わる事業者指定

(1) 居宅支援事業所（身体・知的・児童・精神）

士別市社協ヘルパーステーション

平成18年4月1日(指定) [別記12]

10 介護保険関係研修会への参加

- 全道ホームヘルプサービス研究大会 (28年 7月12日～13日 札幌市1名)
- 介護職員専門研修Ⅰ (28年 8月18日～19日 旭川市1名)
- 高齢者虐待防止推進研修会 (28年 9月 6日 札幌市1名)
- 認定調査員現任研修 (28年10月24日 士別市1名)
- 介護職員専門研修Ⅱ (28年10月26日～27日 旭川市1名)
- 介護給付費等適正化事業 (28年11月 2日 士別市2名)
- ホームヘルプスキルアップ研修 (28年12月12日 札幌市1名)
- 士別市介護支援専門員研修 (29年 3月29日 士別市4名)

11 平成28年度 強化事業

(1) 権利擁護事業（日常生活自立支援事業・成年後見制度の取組）

意思表示や意思決定が困難な高齢者等に対し、日常的な金銭管理などの生活支援サービスを提供する、日常生活自立支援事業（道社協からの26年度新規委託事業）について、士別・和寒・剣淵・幌加内4社協の共同事業として実施した。

- ・ 自立生活支援専門員（士別市社協に配置）
利用者との契約締結や、生活支援計画の作成等業務
- ・ 生活支援員（4社協にそれぞれ配置）
支援計画に基づく、利用者への直接的な生活支援業務

・ 利用実績

平成29年3月31日現在

項目	士 別 市			和 寒 町			剣 淵 町			幌 加 内 町		
	相談	回数	契約	相談	回数	契約	相談	回数	契約	相談	回数	契約
認知	1	1	1	0	0	0	1	1	0	1	3	1
精神	1	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的	1	9	1	1	14	2	2	19	2	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	15	3	1	14	2	3	20	2	1	3	1

権利擁護事業研修会等開催と他機関主催事業への参加

- ・権利擁護研修会を士別・和寒・剣淵・幌加内の福祉事業所職員・民生委員・社協役職員等を対象に、士別市に於いて実施した。

研修月日 9月21日 会場 士別市民文化センター

研修内容 『権利擁護研修会』

- ・「日常生活自立支援事業の現状と課題」
講師 北海道社会福祉協議会 生活支援部長 中村健治 氏
- ・「市民後見人の活動を通して」
講師 士別市市民後見人 神田裕教 氏
- ・グループワーク

参加者 66名

- ・生活支援員養成研修

実施月日 4月20日 会場 サポートセンターしべつ

参加者 13名

- ・他機関主催の権利擁護研修会への参加 2回 職員2名参加

(2) 士別市地域支え合いサロン開催モデル事業

高齢者が近隣や地域との交流を図り、孤立することなく、健康で生きがいのある生活を送れるよう、自治会が主体となり、食事会・茶話会などを行うサロン事業について、士別市より委託を受け、取組自治会に対し支援した。

自治会名	取組内容	参加延人数
第一町内会 (継続)	・健康相談、血圧測定のほか、講話やミニゲーム、体操、昼食会などを実施	136名
親栄 (継続)	・「知る」(講話や講習会)、「うごく」(健康体操など)、「食べる」(パトロール隊員手作りの昼食会)、「話す・歌う」(テーマを設けて皆で話す、歌う)の四つのテーマを中心に実施	151名
あけぼの (継続)	・昼食をとりながらの交流や参加者全員での合唱などを実施	92名
観月 (継続)	・ふまねつと健康教室や夏冬祭りや親睦会を実施	720名
南町南栄 (継続)	・お茶会を中心とした懇談会を開催し、ゲーム、映画鑑賞、そば会など実施	114名
あさひ (継続)	・町内の様々な施設を会場とし、ゲーム・講話・施設見学、交流を実施	66名

周知・啓発の取組

- ・市内自治会にパンフレット配布にて周知(平成28年4月)
- ・社協ホームページに掲載し、また民生委員協議会各部会研修等(3回)を始め、自治会役員会(2回)に参加し、事業内容等の説明を通じて、周知啓発を行った。

12 その他

社協監事による監査	3回	11月1日・3月17日・5月16日
社協正副会長会議	4回	5月16日・8月29日・12月12日・3月1日
社協理事会	4回	5月23日・9月13日・12月19日・3月7日
社協評議員会	4回	5月30日・9月23日・12月26日・3月15日
地域福祉実践計画策定懇談会		
	2回	10月27日・3月29日
苦情解決第三者委員会	1回	4月4日
出前講座の実施	13回	

地域での福祉活動の推進を図るため、ボランティア活動、高齢者福祉等に関して、自治会、学校等へ職員が出向き出前講座を行った。